

■農地利用最適化推進委員の推薦・応募の状況（最終公表：令和8年2月9日～3月19日受付分）

受付番号	区分	被推薦者・応募者							推薦者・推薦団体			推薦又は応募の理由		
		区域番号	氏名	職業	年齢	性別	主な経歴	農業経営等の状況		氏名又は団体名等	職業又は団体の目的		年齢又は代表者等の氏名	
1	推薦	19	かねだ まこと 金田 誠	会社員兼農業	65	男	・平成7年10月 (有)小野金型入社 ・令和7年12月 (有)小野金型退社 ・令和8年1月 (有)小野金型パート勤務	耕作面積 9,900㎡	主な作物 水稲	他産業への 従事日数/月 20日/月	清洲地区自治会協議会	清洲地区内の自治会の連絡協 調と相互の親睦を図り、もって地 域の発展と住民の福祉向上に寄 与することを目的とする。	会長 大森 一男	被推薦者は、会社勤めをしながら、父親から引き継いだ農 家を30年以上経験している。父親の代から早期に稲作の機 械化などに積極的に取り組み、地域の中核農家として近所の 農家と協力しながら農地の耕作・管理を行っており、地域の 農業事情に精通している。 近年は、学生時代からの機械知識の積み上げを活用して、 農業後継者への指導も熱心に行い、人物的にも信頼のある ことで地域に頼られている。 以上のことから、農地の担い手への集積・集約化、遊休農 地の発生防止・解消、新規参入の促進など、農地の利用の 最適化を推進する農地利用最適化推進委員として適任者で あると考え推薦する。
2	推薦	18	おおもり たいぶん 大森 泰文	農業	83	男	・昭和39年4月～昭和59年8月 大同信 号㈱勤務 ・昭和59年11月～平成23年7月 栃木 電子工業㈱勤務 ・平成23年12月～令和3年3月 老人介 護施設勤務 ・平成29年7月～ 鹿沼市農地利用最 適化推進委員	耕作面積 16,700㎡	主な作物 水稲 そば 露地野菜	他産業への 従事日数/月 —	永野地区自治会協議会	永野地区内の自治会の連絡協 調と相互の親睦を図り、もって地 域の発展と住民の福祉向上に寄 与することを目的とする。	会長 毛束 和弘	被推薦者は、現在農地利用最適化推進委員として永野地 区における耕作放棄地解消のため積極的に活動し、多くの 成果を挙げている。地域住民の信望も厚く、農地の担い手へ の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促 進など、農地の利用の最適化を推進する農地利用最適化推 進委員として適任者であると考え推薦する。
3	応募	4	ふくだ ゆみ 福田 結美	農業	51	女	・平成11年4月～12年8月 (有)T&Tナ ーサリー勤務 ・平成12年 結婚と同時に就農 ・平成29年 夫が経営移譲を受け個人 事業主になるとともに、専従者として改 めて就農 ・令和2年1月 栃木県女性農業士に認 定	耕作面積 20,781㎡	主な作物 施設園芸(トマト) 水稲	他産業への 従事日数/月 —	—	—	—	農業という職業になり、鹿沼市の豊かな自然や美しい環境 は農業・農地が大きな役割を担っていることを知った。また、 農業は地域産業としてもとても重要な産業である。 女性農業士として、鹿沼市の農村・農業の現状を把握・理 解し、女性という視点も含めながら、農地利用最適化を推進 する活動を通じ、地域の農業振興に貢献していきたい。
4	推薦	5	さかい よしお 酒井 嘉夫	会社員兼農業	62	男	・昭和57年4月～ 日産自動車㈱勤務 ・平成26年4月～ 引田圃場整備事業 ・平成30年6月～ 引田土地改良区理 事	耕作面積 6,200㎡	主な作物 水稲	他産業への 従事日数/月 20日/月	引田自治会	市民としての自覚と責任、及び相 互の信頼と協力に基づき、安らぎ と潤いに満ちた、よりよい地域共 同社会を創造し、地域住民の福 祉の向上と、住みよい郷土づく りを図ることを目的とする。	会長 金子 裕巳	被推薦者は、長年農業に従事し、地域の農業事情について も精通している。圃場整備後の農地を借り受け規模を拡大し たり、最新機器(ドローン等)を活用し積極的な農業に取り組 んでいる。また、引田土地改良区理事等の経験を活かし、地 域の指導的立場になる人材と考える。 このことから、農地の集積・集約、遊休農地の発生防止等、 農地の利用最適化を推進する農地利用最適化推進委員とし て適任者であると考え推薦する。
5	推薦	17	かねこ ゆたか 金子 豊	農業	68	男	・昭和51年4月～平成28年9月 日産自 動車㈱勤務 ・平成28年10月 新規就農 ・令和4年4月 ふれあいの郷協議会清 流の郷副会長兼直売部長	耕作面積 9,832.12㎡	主な作物 大根 里芋 施設野菜(アスパラ ガス、ニラ)	他産業への 従事日数/月 —	粕尾地区自治会協議会	粕尾地区の自治会及び各種団 体との連絡調整と相互の親睦を 図り、もって地域の発展と住民の 福祉の向上に寄与することを目 的とする。	会長 須藤 宏	被推薦者は、平成28年に就農以来、ニラ農家として経験を 積むとともに、遊休農地の借り入れを積極的に進め規模拡大 を図り、地域の中核農家として活躍している。 地元の直売所にも所属しており、直売所部長として、お客 様の要望に応えられるように様々な野菜の栽培にも力を入れて おり、農地等の利用の最適化の推進に熱意と識見を有し、職 務を適切に遂行できる。

受付番号	区分	被推薦者・応募者							推薦者・推薦団体			推薦又は応募の理由	
		区域番号	氏名	職業	年齢	性別	主な経歴	農業経営等の状況		氏名又は団体名等	職業又は団体の目的		年齢又は代表者等の氏名
6	推薦	3	ふくだ きじゅう	会社役員 兼農業	70	男	・昭和51年4月 八興測量(株)入社 ・昭和56年5月～現在 栃木中央測量(株)設立 ・令和2年7月～現在 鹿沼市農地利用最適化推進委員	耕作面積	7,500㎡	板荷地区自治会協議会	板荷地区内の自治会及び各種団体との連絡協調と相互の親睦を図り、もって地域の発展と住民の福祉向上に寄与すること。	会長 野中 一美	被推薦者は、昭和56年に栃木中央測量株式会社を設立し、そのかたわら兼業農家としても地域の中核農家として活躍している。特に、鹿沼市PTA連絡協議会会長、栃木県少年指導委員等、板荷地域だけではなく広域にわたっての人材育成に尽力されている。また、令和3年に設立された板荷地区圃場整備推進委員会副委員長として、同年設立の営農検討部副部長として、地域の農地を含めた環境向上に非常に熱心である。 以上のことから、農地の担い手への集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など、農地利用の最適化を推進する農地利用最適化推進委員として適任者であると考え推薦する。
			主な作物					水稲					
			他産業への 従事日数/月					10日/月					
7	推薦	9	たのい きょうこ	農業	43	女	・平成15年4月 社会福祉法人小山清風会入社 ・平成18年3月 結婚に伴い退職 ・平成23年4月 家業の農業に従事 ・令和7年1月 栃木県女性農業士に認定	耕作面積	3,600㎡	下奈良部町自治会	市民としての自覚と責任および、会員相互の信頼と協力に基づき、やすらぎとうるおいに満ちたよりよい地域共同社会を創造し、地域住民の福祉の向上と、住みよい街づくりを図ることを目的とする。	会長 斎藤 晴男	被推薦者は、福祉事業に3年間従事したのち、専業農家に入籍した。平成23年4月から、家業であるいちご施設栽培にて実務・労働経験を積んできた。 近年、当地域においても、優良農地が土採取による一時転用後に耕作放棄地となったり、農業従事者の高齢化などによる優良農地の遊休化など、課題も山積している。 このような時期に、栃木県女性農業士として認定されて研鑽を積むとともに、法律や制度などの見識を深めようとする積極進取の姿勢は、優良農地維持・継承と遊休農地対策など、農地利用の最適化を推進するこれからの農地利用最適化推進委員として適任者であると考え推薦する。
			主な作物					いちご					
			他産業への 従事日数/月					—					
8	推薦	12	かみなが くにお	無職	64	男	・昭和55年4月 新規就農 ・令和2年4月～5年4月 鹿沼市酪農組合長 ・令和6年4月～現在 茂呂自治会会長 ・令和5年7月～現在 鹿沼市農地利用最適化推進委員	耕作面積	6,500㎡	茂呂自治会	市民としての自覚と責任及び、会員相互の信頼と協力に基づき、やすらぎとうるおいに満ちたよりよい地域共同社会を創造し、地域住民の福祉の向上と、住みよい街づくりを図ることを目的とする。	会長 神長 邦夫	被推薦者は、昭和55年に就農以来、酪農農家として経験を積むとともに、地域の中核農家として活躍していた。近年は、農業後継者への指導も積極的に取り組み、担い手農家から大きな信頼を得ている。また、鹿沼市酪農組合の活動等を通じて、地域の農地や農家の事情についても精通している。 その他にも、茂呂自治会の会長などを務め、地域住民からの人望も厚い。また、現在も農地利用最適化推進委員である。 以上のことから、農地の担い手への集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など、農地利用の最適化を推進する農地利用最適化推進委員として適任者であると考え推薦する。
			主な作物					—					
			他産業への 従事日数/月					—					
9	推薦	6	なみき いさお	会社員兼 農業	66	男	・昭和53年3月 京浜精密工業(株)入社	耕作面積	3,300㎡	西大芦地区自治会協議会	西大芦地区内の自治会の連絡協調と相互の親睦を図り、もって地域の発展と住民の福祉向上に寄与する。	会長 大橋 悟	長年の経験を基に、農業に関する識見を有しており、農地利用の最適化を推進する委員として大いに貢献できる者であると考え推薦する。
			主な作物					水稲 施設野菜(ナス、 キュウリ)					
			他産業への 従事日数/月					20日/月					
10	推薦	4	たかむら みつあき	団体職員 兼農業	67	男	・昭和51年4月～平成27年5月 上都賀農協職員 ・平成27年5月～30年5月 上都賀農協常務理事 ・平成30年5月～現在 上都賀農協職員 ・令和2年7月～現在 鹿沼市農地利用最適化推進委員	耕作面積	7,000㎡	日吉町自治会	会員が協力して相互の親睦をはかり、地域の発展と福祉、防災の増進及び文化の向上を図ることを目的とする。	会長 関口 善治	被推薦者は、昭和51年に農協職員として就職以来、地域農業の発展と農業者の所得向上に努め、現在に至っている。また、農地利用最適化推進委員として農地の担い手への集積・集約化にも取り組み、大きな信頼を得ている。 以上のことから、農地の担い手への集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規就農参入の促進など、農地利用の最適化を推進する農地利用最適化推進委員として適任者であると考え推薦する。
			主な作物					野菜(自家用)					
			他産業への 従事日数/月					20日/月					

受付番号	区分	被推薦者・応募者						推薦者・推薦団体			推薦又は応募の理由	
		区域番号	氏名	職業	年齢	性別	主な経歴	農業経営等の状況		氏名又は団体名等		職業又は団体の目的
11	推薦	10	とみやま かずまさ 富山 和正	畜産業	49	男	・平成12年3月 新規就農	耕作面積 198,047㎡ 主な作物 畜産 飼料作物 他産業への 従事日数/月 —	南摩地区自治会協 議会	南摩地区内の自治会の連絡協 調と相互の親睦を図り、もって地 域の発展と住民の福祉向上に寄 与する事を目的とする。	会長 阿久津 精一	被推薦者は、平成12年に新規就農以来、26年近く真摯に農 業に取り組み、牛と飼料作物を育てる畜産農家として着実に 経験を積んでいる。 また、かつては、市消防団第9分団に所属し、分団長を務め るなど、地域防災活動にも長年尽力し、地域での人望も厚 い。 地域農家の担い手からも信頼を得ており、農地利用の最適 化を推進する農地利用最適化推進委員として適任であると 考え推薦する。
12	推薦	2	おおがき はるお 大柿 春男	農業	75	男	・昭和44年 就農 ・平成28年4月～平成29年3月 高谷自 治会長 ・平成29年7月～現在 鹿沼市農地利 用最適化推進委員	耕作面積 27,041㎡ 主な作物 トマト 水稻 他産業への 従事日数/月 —	高谷自治会	地域住民により構成された地縁 団体であり、地域の福祉増進、 生活環境整備、住民相互の交流 事業等により地域協働社会を創 造し、住みよいまちづくりを図るこ とを目的とする。	会長 近藤 由香理	被推薦者は、平成29年に農地利用最適化推進委員に就任 以来、推進委員として活躍している。また、農業及び地域団 体の活動などを通じて、地域の農地や農家の事情についても 精通している。その他にも、遺族会菊沢支部会長などを務 め、地域住民からの人望も厚い。 以上のことから、農地の担い手への集積・集約化、遊休農 地の発生防止・解消、新規参入の促進など、農地利用の最 適化を推進する農地利用最適化推進委員として適任者であ ると考え推薦する。
13	推薦	1	すずき としひこ 鈴木 敏彦	農業	69	男	・昭和50年4月 鹿沼市農業協同組合 入社 ・平成26年3月 上都賀農業協同組合 退職	耕作面積 14,602㎡ 主な作物 水稻 他産業への 従事日数/月 —	玉田町自治会	市役所などと連携し、地域の 様々な問題や課題を解決する任 意団体。地域住民により構成さ れ、その地域が住みよいまちに なるように自主的に活動する。	会長 黒川 亨	被推薦者は、平成26年に就農以来、水稻農家として経験を 積むとともに、積極的に規模拡大を図り、地域の中核農家と して活躍している。 近年は、農業後継者への指導も積極的に取り組み、担い手 農家から大きな信頼を得ている。また、玉田町圃場整備事業 の役員として、地域の農地や農家の事情にも精通している。 玉田町自治会長などを務め、地域住民からの人望も厚い。 以上のことから、農地の担い手への集積・集約化、遊休農 地の発生防止・解消、新規参入の促進など、農地利用の最 適化を推進する農地利用最適化推進委員として適任者であ ると考え推薦する。
14	推薦	7	わたなべ しんいち 渡邊 伸一	農業	70	男	・自営業(農林業)従事 ・令和5年7月～現在 鹿沼市農地利 用最適化推進委員	耕作面積 42,000㎡ 主な作物 水稻 野菜(うど) 他産業への 従事日数/月 —	加蘇地区自治会協 議会	加蘇地区の自治会長で構成 し、自治会の連絡協調と相互の 親睦を図り、地域の発展と住民 の福祉向上に寄与することを目 的とする。	会長 小林 俊明	被推薦者は、農業後継者への指導に積極的に取り組み、 担い手農家から大きな信頼を得ている。また、農業活動を通 じて、地域の農地や農家の事情についても精通している。そ の他にも、過去には自治会長なども務め、地域住民からの人 望も厚い。 現在、農地利用最適化推進委員を務めており、引き続き推 進委員として地域のために尽力してほしい。
15	推薦	14	きりゆう かつみ 桐生 克己	農業	55	男	・平成3年4月 就農 ・平成3年 楡木町営農改善組合組合 員	耕作面積 47,500㎡ 主な作物 水稻 玉ねぎ 里芋 ナス 他産業への 従事日数/月 —	南押原地区自治会 連絡協議会	南押原地区内の自治会の連絡 調整と相互の親睦を図り、もって 地域の発展と住民の福祉向上に 寄与することを目的とする。	会長 井上 一久	被推薦者は、平成3年に就農以来、水稻農家として米作り に真剣に取り組むとともに、楡木町営農改善組合に入職し、 組合員として仲間とともに活躍している。また、南押原土地改 良区の総代として、農地や用水路等に精通しており、持ち込 まれる改善には積極的に協力している。 農業従事者の高齢化、耕作放棄地の増加に危機感を持つ ており、地域農業の問題の解消、課題の解決に並々ならぬ 意欲を持っている。 以上のことから、農地の担い手への集積・集約化、遊休農 地の発生防止・解消、新規参入の促進など、農地利用の最 適化を推進する農業委員会に大いに貢献できる者であると 考え推薦する。

受付番号	区分	被推薦者・応募者							推薦者・推薦団体			推薦又は応募の理由	
		区域番号	氏名	職業	年齢	性別	主な経歴	農業経営等の状況		氏名又は団体名等	職業又は団体の目的		年齢又は代表者等の氏名
16	推薦	15	つくい としお 筑井 敏夫	農業	59	男	・昭和62年4月 就農 ・令和5年7月～現在 鹿沼市農地利用最適化推進委員 ・令和6年5月～現在 上都賀農業協同組合理事	耕作面積	30,600㎡	南押原地区自治会 連絡協議会	南押原地区内の自治会の連絡調整と相互の親睦を図り、もって地域の発展と住民の福祉向上に寄与することを目的とする。	会長 井上 一久	被推薦者は、昭和62年に就農以来、いちご栽培農家として経験を積むとともに、農業について熱く語ることも多く、農業関係者や地域住民からも信頼を得ている。平成28年からは、南押原土地改良区の理事を務め、地域の農地や水路等にも精通しており、持ち込まれる相談事には懇切丁寧に時間をかけて対応している。また、令和6年には、上都賀農業協同組合の理事に就任し、より高い次元からの視点で次世代の地域農業を見つめ直そうと意欲を示している。 以上のことから、農地の担い手への集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など、農地利用の最適化を推進する農業委員会に大いに貢献できる者であると 考え推薦する。
								主な作物	いちご 水稲				
								他産業への 従事日数/月	—				
17	応募	16	おおぬき はじめ 大貫 肇	農業	59	男	・昭和63年4月～平成21年3月 鹿沼市役所勤務 ・平成21年3月～ 新規就農 ・令和2年7月～現在 鹿沼市農地利用最適化推進委員	耕作面積	17,055㎡	—	—	—	第一次産業である農業は、農家の高齢化や後継者の不足から、遊休農地等が増加している状況となっている。また、山間部を中心として、シカ、イノシシ、サル、さらに近年では熊の出現により、耕作放棄地が増えているのが現状となっているが、抜本的な対策がとれずにいる。 食糧自給率も38%と横ばいではあるが、今の状況が続けばさらに下がっていくのが目に見える状態である。現状では、これといった有効な打開策は見出せないが、ただ手をこまねいているわけにもいかないと思う。 一人の知恵や知識では考えつかないものでも、「三人寄れば文殊の知恵」ではないが、コストパフォーマンスのよい施策を思いつくのではないと思う。民間企業と公務員、そして農業従事者としての経験等から思いつく改善策等、少しでもこれからの農業を良い方向に向けるための協力をしたいと思っている。
								主な作物	いちご 水稲				
								他産業への 従事日数/月	—				
18	推薦	8	せきぐち まさひろ 関口 昌宏	農業	68	男	・平成元年9月 ㈱こすもす入社 ・平成10年9月 ㈱こすもす退社 ・平成18年2月 上都賀農業協同組合入組 ・令和2年3月 上都賀農業協同組合退組 ・令和5年7月～現在 鹿沼市農地利用最適化推進委員	耕作面積	18,000㎡	北押原地区自治会 協議会	北押原地区内の自治会の連絡調整と相互の親睦を図り、もって地域の発展と住民の福祉向上に寄与することを目的とする。	会長 関口 正一	被推薦者は、約25年前に就農し、現在は専業で水稲農家として経験を積んでいる。鹿沼市農地利用最適化推進委員としても活動している。また、地域保全の会などの取り組みを通じて地域の農地や農家の事情についても精通しており、地域住民からの人望も厚い。 以上のことから、農地の担い手への集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など、農地利用の最適化を推進する農業委員会に大いに貢献できる者であると 考え推薦する。
								主な作物	水稲				
								他産業への 従事日数/月	—				

受付番号	区分	被推薦者・応募者							推薦者・推薦団体			推薦又は応募の理由	
		区域番号	氏名	職業	年齢	性別	主な経歴	農業経営等の状況		氏名又は団体名等	職業又は団体の目的		年齢又は代表者等の氏名
19	推薦	13	うえだ あきひろ 上田 哲宏	農業	47	男	平成11年 就農	耕作面積	105,000㎡	深津自治会	深津地区内の住民の連携協調と相互の親睦を図り、地域の発展と住民の生活、福祉、環境向上に寄与することを目的とする。	会長 鈴木 修一	被推薦者は、平成11年に就農以来、父の指導の下で経験を積み、農地を多く借り入れるなど、地域の中核農家として活躍している。 近年、後継者問題や遊休農地問題などがクローズアップされる中、遊休農地を増やさない取り組みにより、担い手として大きな信頼を得ている。 以上のことから、農地利用最適化推進委員として適任者であると考え推薦する。
								主な作物	水稻 さといも				
								他産業への 従事日数/月	—				
20	推薦	11	かねこ ゆういち 金子 雄一	農業	74	男	昭和45年4月 サノヤ産業(株)入社 昭和48年4月 東武不動産(株)(東武鉄道グループ)入社 昭和54年2月 (株)KAT(関西ペイントグループ)入社 令和元年8月 (株)KAT退社	耕作面積	12,100㎡	下石川自治会 池ノ森自治会	下石川地区内の住民の連携協調と相互の親睦を図り、もって地域の発展と住民の生活、福祉、環境向上に寄与することを目的とする。 池ノ森地区内の住民の連携協調と相互の親睦を図り、もって地域の発展と住民の生活、福祉、環境向上に寄与することを目的とする。	会長 瓦井 努 会長 金子 雄一	下石川、池ノ森は、農地が多い地域である。農業者の高齢化に伴い、耕作放棄地の増加や近隣の農作業への影響、地域環境の悪化が懸念される。 被推薦者は、地域内で生ずる多様な問題や課題に対して積極的な誠意ある姿勢で取り組み、結果につなぐことができる人物である。地域農業の活性化に貢献できる人物であり、地域の農地利用最適化の推進役として活躍してほしいと考え推薦する。
								主な作物	稲作(水田、開田)				
								他産業への 従事日数/月	—				